旧産業振興校舎大規模改修電気設備工事

図 面 リ ス ト	
番　号	名　　称
E-01	電気設備工事仕様書
E-02	配置図，幹線設備平面図
E-03	盤図，照明器具参考姿図
E-04	トイレ照明設備平面図
E-05	トイレコンセント設備平面図，トイレ火災報知設備平面図
E-06	耐震補強電気設備改修平面図，給水設備電気設備改修平面図
E-07	電動水抜栓等配線設備平面図，電動水抜栓配線参考断面図

秋田市建設部建築課

電　気　設　備　工　事　仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　　秋田市八橋南一丁目８番１１号

2．建物概要

建　物　名	構　造	階　数	延床面積(㎡)	消防法の用途区分	備　考
旧産業振興校舎	ＲＣ	地上３階建	1,837.51㎡	専修学校	

3．耐震クラス　　建築設備機器　Ｓ

4．電気工作物　　●自家用電気工作物　　○一般用電気工作物

5．電気工事士　　●第一種電気工事士　　●第二種電気工事士　　○認定電気工事従事者　　○特殊電気工事資格者

6．電気料金他　　（１）電気料金　　●施工者負担　　○別途
上記料金の支払期間は、特記無き場合は受電した日から引き渡し日までとする。
（２）保安委託費　　●施工者負担　　○別途
上記料金の支払期間は、特記無き場合は受電した日から引き渡し日を含む月までとする。
（３）電話料金　　●施工者負担　　○別途
上記料金の支払期間は、特記無き場合は引込した日から引き渡し日までとする。

Ⅱ　一般事項

1．適用範囲
設計図書および質問回答書に記載してある事項以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編　最新版　以下、標準仕様書という）および公共建築設備工事標準図（電気設備工事編　最新版　以下、標準図という）による。

2．工事関係図書
標準仕様書　第１編１．１．３～１．２．４による他、下記による。
（１）提出書類について
指示なき以外は下記の書類を提出すること。
①着工前に提出する書類　・施工計画書　・実施工程表　・工事監理用白焼き２つ折製本　１部
・施工体系図　・資格証明書等の写し　・工事実績情報登録内容確認書（受注登録）
・機器・材料製造者選定届　・納入仕様書
・総合図　・施工図　・計算書
・工事前写真　・工事前試験結果報告書　・打合せ記録
②工事中に随時提出する書類　・施工計画書
・工事報告書（月１回）　・工事施工記録書（月１回）　・工事総合進捗表（月１回）
・工事進捗記録写真（月１回）　・工事施工進捗図（月１回）
・全体実施工程表　・週間、月間工程表　・作業日報
・施工体系図　・施工体制台帳
・使用資材報告書　・納入仕様書　・試験成績報告書
・総合図　・施工図
・工事写真　・試験結果報告書　・打合せ記録
・請官庁届出書　・工事実績情報登録内容確認書（変更登録）
③下検査前に提出する書類　・工事完成届（指定用紙）　・建退共証紙貼付実績書および共済手帳の写し
・完成写真　・工事写真
・主要機器一覧表
・機器・材料製造者選定届　・納入仕様書
・試験結果報告書　・試験成績報告書
・社内検査報告書
・請官庁届出書および許可書
・資格証明書等の写し
・廃材等の処分証明書（マニフェストＥ票の写し、許可証の写し、フローチャート等）
④完成検査前に提出する書類　・下検査指摘事項書
・同上是正報告書および是正写真
⑤完成検査後に提出する書類　・完成検査写真
・完成検査指摘事項書
・同上是正報告書および是正写真
・工事完成引渡書　・工事完成受領書
（２）工事写真について
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」および下記による。ただし、詳細については監督員の指示によるものとする。
・完成写真、資材検収写真（工種別、資材別、寸法、仕様銘版）
・工事写真、廃材処分写真（積込み、運搬、処分地搬入状況）
・試験写真（絶縁、接地、照度、試運転調整等）
・検査写真（中間検査写真、完成検査写真、官庁立会検査写真）

3．工事現場管理
標準仕様書　第１編１．３．１～１．３．１０による。

4．機器および材料
標準仕様書　第１編１．４．１～１．４．６による他、下記による。
本工事に使用する機器および材料は、Ⅵ 工事機材から選定し、速やかに機器・材料製造者選定届を提出すること。

5．施工
標準仕様書　第１編１．５．１～１．５．７による他、下記による。
（１）技能士の適用範囲は端末処理作業、後打ちアンカー作業、ケミカルアンカー作業とする。
（２）現場で溶接作業を行う溶接工はＪＩＳＺ３８０１に基づく（社）日本溶接協会の管溶接の資格を有する者とする。

6．試験
標準仕様書記載の試験および、監督員の指示するものとする。

7．工事検査および技術検査
標準仕様書　第１編１．６．１～１．１．６．２による他、「秋田市建設工事検査規程」による。

8．完成図等
標準仕様書　第１編１．７．１～１．１．７．３による他、下記による。
（１）完成図書類（標準仕様書および、監督員の指示による。）
●完成図書（電子納品）
●ＣＤ、ＤＶＤ（●竣工図　●施工図　●納入仕様書　●取扱説明書　●工事写真）　3部
●完成図書
○黒表紙製本　（●竣工図　●施工図　●納入仕様書　●取扱説明書）　部
●簡易製本　1部
●Ａ４版青焼き２つ折製本（●竣工図　●施工図　●竣完成図）　2部
（２）附属品（予備品含む）
附属品（予備品含む）、保守工具は引継目録を添えて提出すること。また鍵・弁等に取り付ける名称札はプラスチック製とし、彫り込み文字とする。
予備品において、ヒューズ、避雷器類は、各盤ごとに現用品の２０％以上、また、種別ごとに１組以上を具備すること。

9．かし担保
かし担保は、工事請負契約書による。

10．その他
本工事に必要な各種申請手続等はすべて請負者において行うこと。

Ⅲ　共通事項

1．他業種との工事区分　　特記なき以外は下記は本工事とする。
（１）梁・床・壁貫通部のスリーブ
（２）壁埋込型器具類の仮枠
（３）天井埋込型器具類下地の墨出し
（４）軽量鉄骨（天井・壁とも）の機器取付け用の補強
（５）吊りボルト用インサート

2．スリーブ　　特記なき以外は外壁の地中部等の水密を要する部分は鋼付鋼管、その他は亜鉛めっき鋼板とする。

3．ハンドホール　（１）特記なき以外はブロック型埋設表示板付とし、配管取付加工（ベルマウス、止水スリーブ等）を工場で行うこと。
（２）ハンドホール内ではケーブルに余長を設けること。
（３）蓋の表示は下記のとおりとする。
「電　」……一般電気設備　　「高圧」……高圧電力用設備
「電気」……電力用設備　　「弱電」……通信、電話用等

4．接地　　接地埋設標はステンレス製とし、文字、数値は刻印とする。

5．土工事関連　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（建築工事編　最新版）第３章「土工事」による。

6．耐震施工　　設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所監修）」による。

7．アンカー　（１）機器固定のアンカーボルトの場合には、着工前に耐震計算書を提出すること。
（２）屋外に施工する場合はステンレス製とし、シーリングを確実に行うこと。

8．シーリング　　シーリング材は原則として変成シリコーン（ＭＳ－２程度）とし、シーリング材およびプライマーの選定および施工は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（建築工事編　最新版）による。

9．再使用機器　　本工事に再使用機器を使用する場合は、取外清掃後正常に作動することを確認すること。

10．天井点検口　　特記なき以外は４５０×４５０、アルミ製、目地枠とする。

11．キュービクル　　特記なき以外は下記によるものとする。
（１）抵抗の測定が容易な構造とし、負荷接続用端子台を実装すること。
（２）変圧器の容量アップが可能な構造とすること。
（３）計器は広角型とする。
（４）導電部の接続部には、締付けの確認マークをつけること。ただし、制御回路および補助回路は除く。

12．盤類　　標準盤およびホーム分電盤はメーカー標準によるものとし、製作盤は下記によるものとする。
（１）扉のハンドル形状は監督員の指示によるものとし、２００番とする。ただし、シリンダー錠は３００番とする。
（２）圧着端子は丸型とし、制御回路等の配線には線番号を付けること。
（３）塗装は指定色焼付塗装とし、塗装色の指示なきは２．５Ｙ９／１とする。
（４）盤内扉の固定方法はワンタッチ式とし、ローレットビスおよびビス止め方式としないこと。
（５）天井裏まで予備の立上り配管（Ｅ２５×２＋Ｅ５１×２程度）を施工すること。詳細は監督員の指示による。

13．位置ボックス　　特記なき以外は４角中浅アウトレットボックスとする。

14．配線器具　（１）特記なき以外は大角型とし、スイッチはネーム入り、プレートは新金属とする。
（２）コンセントの送り端子は使用しないこと。

15．２００Ｖ機器　　照明器具を含む２００Ｖ機器には両切りスイッチを使用し、接地線を施すこと。

16．ダウンライト　　特記なき以外は蛍光ランプと同色のランプとする。

17．拡声設備　（１）マイクロホンの接続はキャノンタイプコネクターとする。
（２）非常用放送設備の性能基準の部分については、着工前に計算書、着工後に音圧測定結果報告書を提出すること。

18．テレビ共同受信設備　　アンテナマストは耐風速６０（ｍ/ｓ）以上とし、着工前に計算書を提出すること。

19．避雷設備　　支持管は耐風速６０（ｍ/ｓ）以上とし、着工前に計算書を提出すること。

20．屋外等の仕様　　屋外および地下ピットに用いる支持金具、ボルト、ナット、ビス類はすべてステンレス製もしくは溶融亜鉛メッキ製とする。
また、ステンレス製電線管は厚鋼ねじなし、つや無し仕上とする。

21．配管等の塗装　　特記なき以外は露出配管、露出ボックス、支持金物は指定色で塗装すること。また、屋外の露出ボックス等は指定色で焼付塗装すること。

22．保温・結露防止　　外部に面する壁および天井で、発泡プラスチック保温材の打ち込み個所に取り付ける位置ボックス等は保温、結露防止処理をすること。また、水廻りおよび屋上階の床への打込配管は避けること。

23．ケーブル保護　　ケーブル工事において配線の立上がり・立下がりは電線管で保護すること。

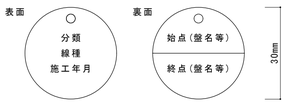
24．二重天井内配線　　ケーブル工事において二重天井内配線はケーブル支持配線とする。

25．導入線の挿入　　本工事で使用しない新設配管には導入線（ＥＭ－ＩＥ１．６）を挿入すること。

26．機器等の表示　（１）盤内の制御機器（サーモ、タイマー等）には、系統名称を記入すること。
（２）電灯のジョイントボックスおよびコンセントには盤名称、回路番号を表示すること。
（３）発電機回路の場合、プレート、二重床用ケーブル接続器および二重床用テーブルタップには、一般電源回路と区別がつくよう回路種別の表示をすること。

27．ケーブルマーク　　特記なき以外は下記によるものとし、詳細は監督員の指示による。
（１）プラスチック製　彫刻文字　ビニール被覆結束紐付
盤、プルボックス、ハンドホール内およびケーブルの防火区画貫通部の前後、ケーブルラック上のケーブル３０ｍ以下毎に取付けること。
表面に分類（電灯幹線等）と線種および施工年月、裏面に始点と終点（盤名等）を記すこと。
用途別のケーブルマークの色別は下記のとおりとする。

分　類	地　色	文字色
高　圧	赤	黒
電　灯	白	黒
動　力	青	白
弱　電	黄	黒
火　報	橙	黒



（２）ファイバー製　シール文字　結束紐付
電灯分電盤の各回路に取付けること。
地色は白、文字色は黒、表面に回路番号と負荷名称、裏面に線種を記すこと。

Ⅳ　仮設工事

1．現場事務所　　●有り　　○無し

2．工事電力および用水　　工事用電力　構内既存施設　●利用できない　○利用できる（有償）
工事用水　構内既存施設　●利用できない　○利用できる（有償）

3．工事表示板の設置　　監督員が指定する位置に一箇所設置する。
表示時期は工事着工時から完成時までとする。
表示板の形式

建　築　工　事　の　表　示	
工　事　名　称	工事名称
構　造　規　模	構造規模（設備のみの工事では省略）
工　事　期　間	平成○○年○○月○○日　～　平成○○年○○月○○日
建　築　主	秋田市長　○○○○
設　計　者	秋田市建設部建築課
工事監督者	秋田市建設部建築課　電気設備担当　TEL018-866-2136
工事施工者	○○○○○○○○○　○○○○　TEL000-000-0000

（１）表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。
（２）地色は、マンセル記号１ＧＹ７．５／８とし黒文字（角ゴシック）で表現する。
（３）表示板の大きさ
●１号　（横　180cm×縦　90cm）　○２号　（横　240cm×縦　120cm）
○３号　（横　360cm×縦　180cm）　○その他　（横　90cm×縦　60cm）

4．その他　（１）建設リサイクル法の対象の場合は、同法遵守指導としての「届出(通知)済シール」を建設業許可標識に貼り付けること。
（２）建設業退職金共済制度の対象の場合は、「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」の掲示をすること。

Ⅴ　機器取付高さ

機器取付高さは下表を標準とするが、現場の状況に応じて監督員と協議すること。

	名　称		測　点	取　付　高　（ｍｍ）
幹	取引用計器		床　上～窓中心	１,３００
	引き込み用開閉器		床　上～中　心	１,３００
	警報盤		床　上～中　心	１,５００
線	分電盤		床　上～中　心（床上～上端）	１,５００（１,９００以下）
電	スイッチ	（一　般　用）	床　上～中　心	１,３００
	スイッチ	（和　室　用）	〃	１,２００
	スイッチ	（バリアフリー）	〃	３５０～１,２００
	コンセント	（一　般　用）	〃	３００
	コンセント	（和　室　用）	〃	２００
	コンセント	（バリアフリー）	〃	３５０～　４００
	コンセント	（台　上）	台　上～下　端	１５０
	コンセント	（機械室等）	床　上～中　心	６００～１,０００
	ブラケット	（一　般　用）	〃	２,１００～
	ブラケット	（階段踊場）	〃	２,５００～
	ブラケット	（ミ　ラ　ー）	鏡上端～中　心	１５０
	非難口誘導灯		床　上～下　端	１,５００以上
灯	通路誘導灯		床　上～上　端	１,０００以下
動	制御盤	（壁　掛　型）	床　上～中　心（床上～上端）	１,５００（１,９００）以下
	手元開閉器		床　上～中　心	１,５００
力	操作スイッチ		〃	１,３００
電	集合保安器盤		天　井～上　端	２００
	端子盤	（廊下、室内）	床　上～下　端	３００
	壁付アウトレット	（一　般　用）	床　上～中　心	３００
話	壁付アウトレット	（和　室　用）	〃	１５０
時	壁掛型時計		〃	１,５００
計	壁付子時計		〃	天井高×０.８～０.９（体育館は別途）
拡	壁掛型スピーカー		〃	天井高×０.８～０.９
声	壁付アッテネーター		〃	１,３００
呼	表示盤		〃	天井高×０.９
	壁付発信機		〃	１,３００
出	ベル、ブザー、チャイム		〃	天井高×０.９
	壁付押ボタン	（一　般　用）	〃	１,３００
	壁付押ボタン	（バリアフリー）	〃	３５０～１,２００
表	壁付インターホン	（一　般　用）	床　上～中　心	１,３００
	壁付インターホン	（バリアフリー）	〃	３５０～１,２００
	壁付アウトレット	（一　般　用）	〃	３００
示	壁付アウトレット	（和　室　用）	〃	２００
テ	機器収容箱		天　井～上　端	２００
レ	直列ユニット	（一　般　用）	床　上～中　心	３００
ビ	直列ユニット	（和　室　用）	〃	２００

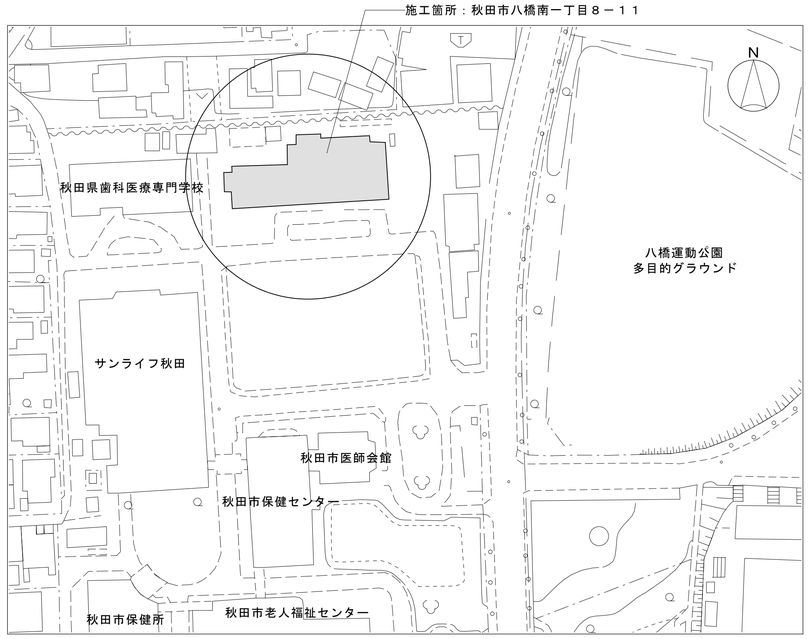
Ⅵ　工事機材

本工事に使用する機器および材料は、下記の製造業者の中から選定すること。ただし、記載されていない　品目、製造業者および同等品等については事前に書類を提出し、監督員の承諾を得ること。
完成図書の納入にあたっては、電子納品に対応すること。

電線・ケーブル	ＪＩＳマーク表示品
耐火・耐熱ケーブル	（社）日本電線工業会規格適合品、準拠品
通信用ケーブル	（社）日本電線工業会規格適合品、準拠品
電線管・電線管付属品	ＪＩＳマーク表示品
波付硬質合成樹脂管	ＪＩＳマーク表示品
プルボックス	国土交通省仕様
照明器具	ＪＩＳマーク表示品
ＨＩＤ灯	ＪＩＳマーク表示品
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会規格適合品
誘導灯器具	（社）日本電気協会誘導灯認定委員会認定品
配線器具	ＪＩＳマーク表示品
製作盤	東和、山彫、かわでん、古川
標準盤	日東、パナソニック、テンパール
ホーム分電盤	（社）日本配線器具工業会住宅用分電盤規格適合品
配線用遮断器	三菱、富士、パナソニック、東芝、日立、テンパール、日幸、戸上、日東、寺崎
電磁開閉器	三菱、富士、パナソニック、東芝、日立、戸上、安川、春日
計器、継電器等	ＪＩＳマーク表示品
高圧負荷開閉器	戸上、三菱、富士、東芝、エナジーサポート、日本高圧
高圧遮断器	三菱、富士、明電舎、日立、愛知、東芝、安川、戸上
変圧器	三菱、富士、明電舎、日立、愛知、東芝、安川、ダイヘン、高岳、利昌
進相コンデンサ	三菱、ニチコン、指月、東芝、日新、利昌
直列リアクトル	三菱、ニチコン、指月、東芝、日新、利昌
発電機	三菱、富士、明電舎、川崎、東芝、西芝、安川
蓄電池	ＧＳユアサ、古河、パナソニック
電気時計	シチズン、パナソニック、セイコー
拡声装置	ビクター、パナソニック、ＴＯＡ
テレビ共同受信	ＤＸ、マスプロ、八木
インターホン	アイホン、パナソニック、東芝
電話交換装置・電話機	日立、富士通、ＮＥＣ、東芝、岩崎、ＮＴＴ
火災報知機	能美、ホーチキ、パナソニック、ニッタン
避雷針	国土交通省仕様
ハンドホール	コンクリート製品でのＪＩＳ認定工場
ハンドホールの蓋	国土交通省仕様
パネルヒーター	日本シーズ線、インターセントラル
遠赤外線ヒーター	日本シーズ線、インターセントラル、日精オーバル
ロードヒーター	三菱、富士古河、北日本
防火区画貫通処理材	国土交通大臣認定品

秋田市建設部建築課	件名	旧産業振興校舎大規模改修電気設備工事					種別	電気設備工事仕様書	特記
	課長		参事		設計		縮尺	NON	
							設計年月日	H27.04	年度 H27

7 枚ノ内 1　図面番号　区分 E



配置図　S=NON

施工概要

旧産業振興校舎の耐震補強およびトイレ改修に伴う，電気設備工事を行う。

１階，２階および３階のトイレ電気設備を改修すること。

耐震補強工事に伴い，ブレースおよびスリット工事に影響する電気設備を撤去新設すること。

給水設備および油配管設備の改修に伴い，既設電気設備の撤去再取付，電源の配線を行うこと。

学校内部へ立ち入る場合は，必要に応じて養生をすること。
夏休み期間外の工事は，授業の支障にならないように行うこと。

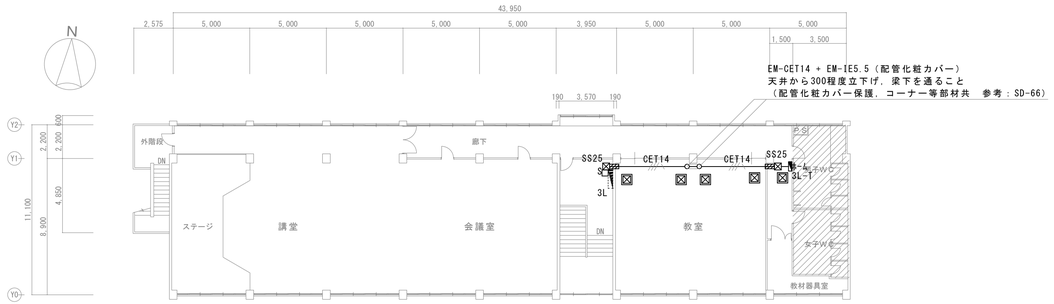
２階および３階のトイレについては，完成次第，引渡しをすること（９月末を予定とする）

配線例

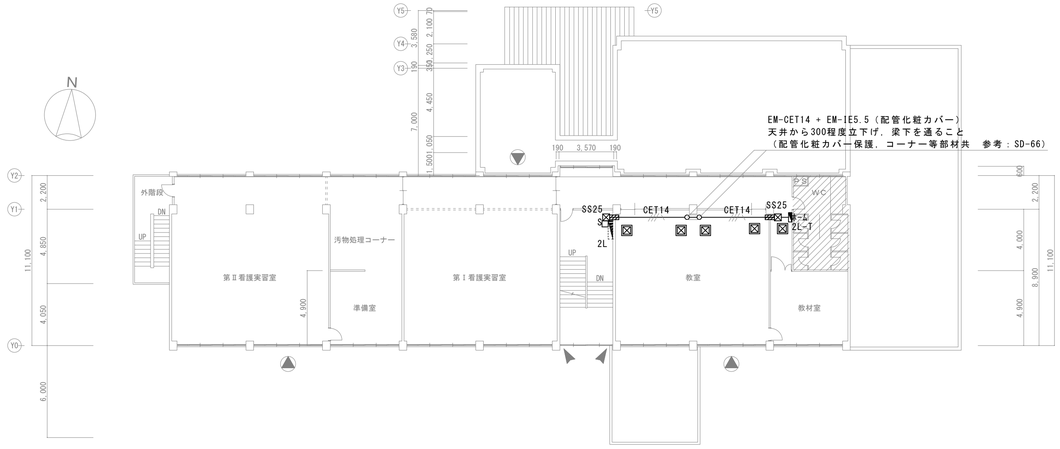
記　号	線　種	保護管	備　考
CET14	EM-CET14 + EM-IE5.5	EP31 塗装	露出部を電線管保護

設備凡例

記　号	名　称　・　仕　様	備　考
1L	既設電灯分電盤	主幹KSをMCCBに改修すること（２箇所）
2L	既設電灯分電盤	主幹KSをMCCBに改修すること（２箇所）
3L	既設電灯分電盤	主幹KSをMCCBに改修すること（２箇所）
ホーム 1L-T	ホーム分電盤　ドア付，露出・半埋込共用	分電盤参考結線図参照
ホーム 2L-T	ホーム分電盤　ドア付，露出・半埋込共用	分電盤参考結線図参照
ホーム 3L-T	ホーム分電盤　ドア付，露出・半埋込共用	分電盤参考結線図参照
S	開閉器収納箱　MCCB 3P60AF/60AT中性線欠相保護付 露出樹脂ボックス200×300×140共	参考：P14-23BA
SS25	プルボックス　鋼製，指定色塗装，250×250×250	
	防火区画貫通処理　コア抜きφ50程度	
	壁貫通処理箇所　コア抜φ50程度	
	天井点検口　アルミ製，額縁枠，450□	開口補強共
	配管用化粧カバー　コーナー等部材共	参考：SD-66



幹線設備３階平面図　S=1/200



幹線設備２階平面図　S=1/200

幹線設備１階平面図　S=1/200

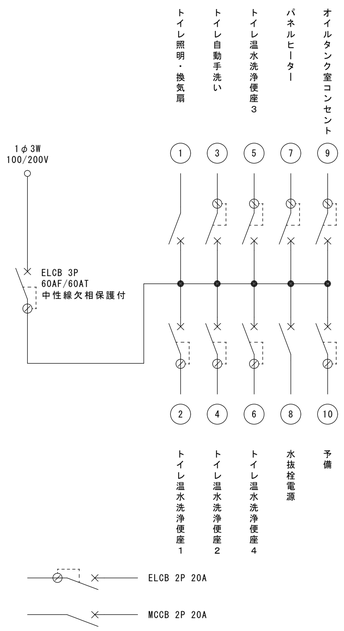
※ ■ ：着色部分はＳ造平屋建

秋田市建設部建築課	件名	旧産業振興校舎大規模改修電気設備工事						種別	配置図，幹線設備平面図		
	課長		参事		設計			縮尺	S=1/200		
								設計年月日	H27.04	年度	H27

特記

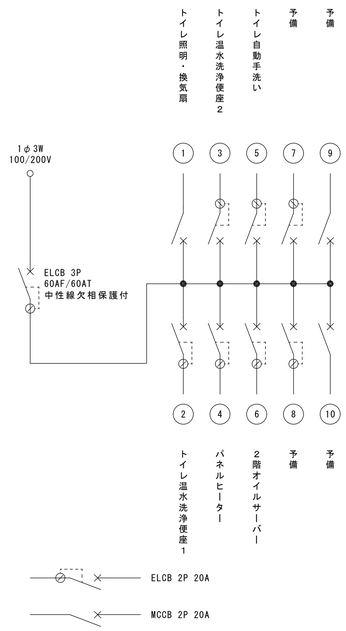
各階の既設分電盤の主幹ナイフスイッチ（3P2E 250V 100A ×２個）を撤去し，開閉器（MCCB 3P100AF/100AT 中性線欠相保護付 ×２個）を新設すること。
各階分電盤横に開閉器箱を新設し，各階のトイレ設備用分電盤へ幹線を配線すること。

7	図面番号	2
枚ノ内		
区分	E	



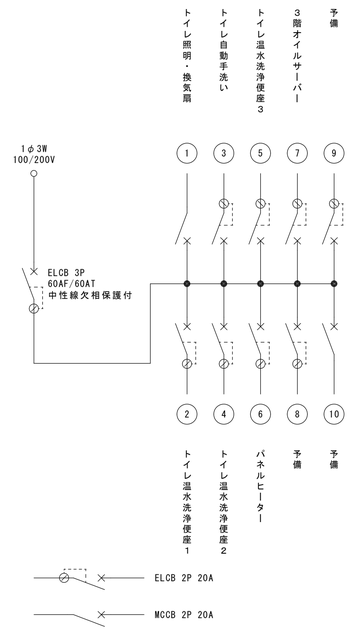
ホーム分電盤
ドア付
露出・半埋込共用
予備スペース×２
参考：HCB3E6-102（分岐回路組替）

電灯分電盤１Ｌ－Ｔ参考結線図



ホーム分電盤
ドア付
露出・半埋込共用
予備スペース×２
参考：HCB3E6-102（分岐回路組替）

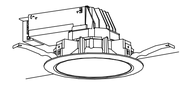
電灯分電盤２Ｌ－Ｔ参考結線図



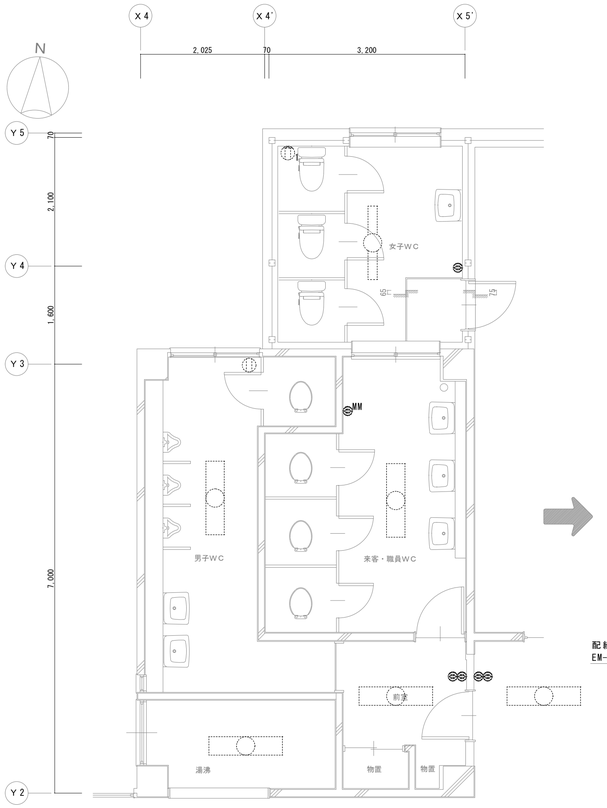
ホーム分電盤
ドア付
露出・半埋込共用
予備スペース×２
参考：HCB3E6-102（分岐回路組替）

電灯分電盤３Ｌ－Ｔ参考結線図

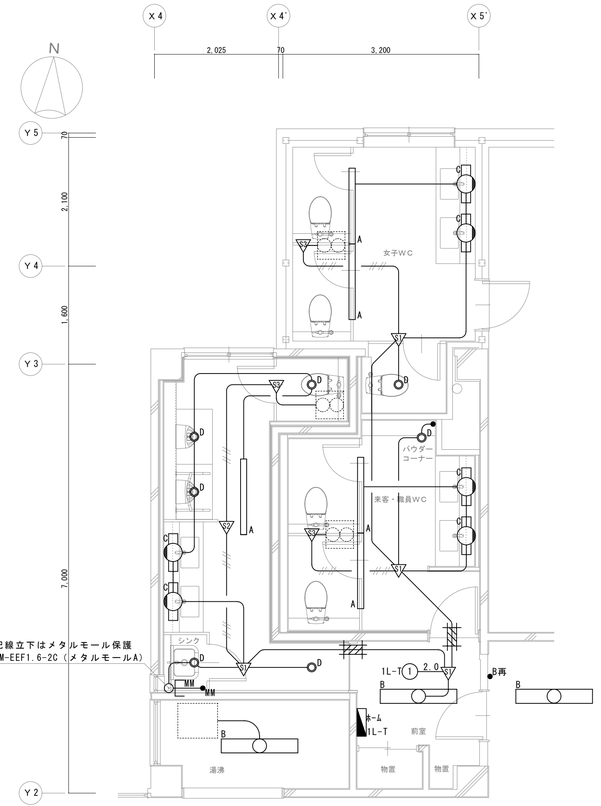
照明器具参考姿図

A	LED，埋込型下面開放型	B	LED，直付40形	C	LDL20×1，笠なし型	D	LED100型　ダウンライト
44.4W	本体，ライトバー共 6,330 lm ｶﾞﾙﾄﾌﾘｰ（100～242V） 昼白色 埋込穴100×1,235程度 連結用	44.4W	本体，ライトバー共 6,900 lm ｶﾞﾙﾄﾌﾘｰ（100～242V） 昼白色 W230	12W	鋼板 950 lm ｶﾞﾙﾄﾌﾘｰ（100～242V）	11.1W	 ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ 1,110 lm ｶﾞﾙﾄﾌﾘｰ（100～242V） 拡散タイプ
参考：埋込XLE960EFV LT9 参考：NNU603015K LT9共		参考：直付XL953EFV LA9 参考：NNU603015 LT9共		参考：NNF21030 LT9 参考：LDL20S･N/11/12共		LRS1-950LM LE9	

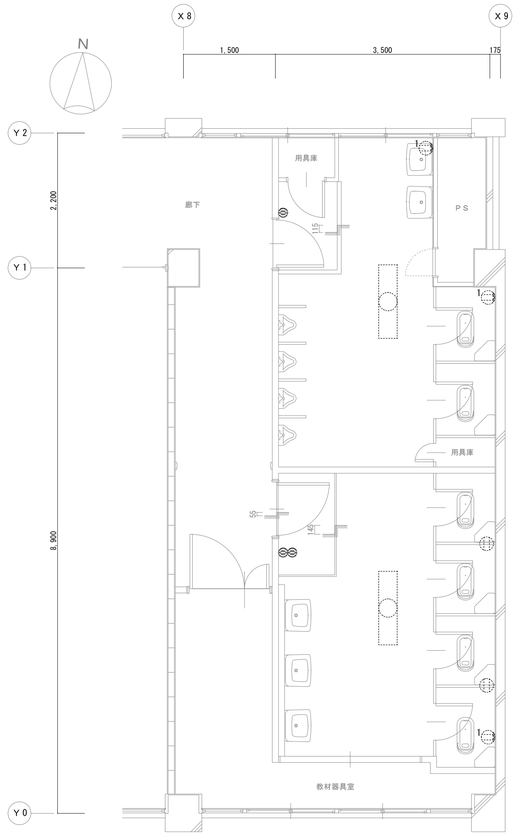
秋田市建設部建築課	件名	旧産業振興校舎大規模改修電気設備工事	種別	分電盤図，照明器具参考姿図	特記	7 枚ノ内	図面番号 3
	課長 / 参事 / 設計		縮尺	S=NON			区分 E
			設計年月日	H27.04　年度　H27			



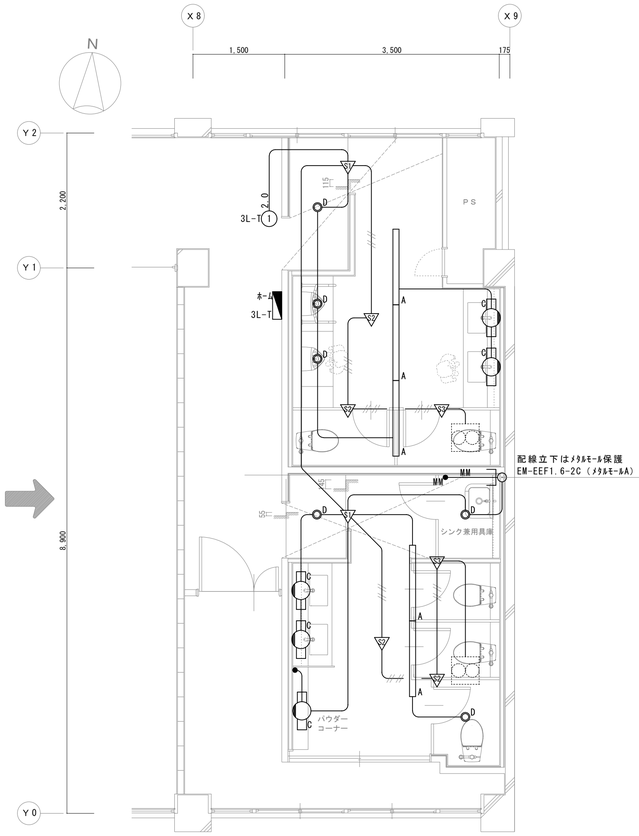
施工前　トイレ照明設備１階平面図　S=1/50



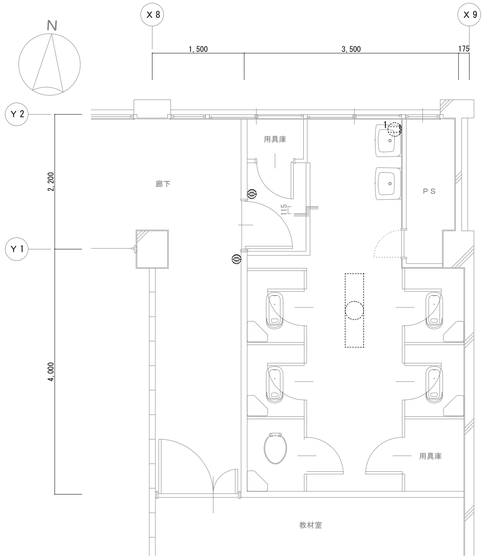
施工後　トイレ照明設備１階平面図　S=1/50



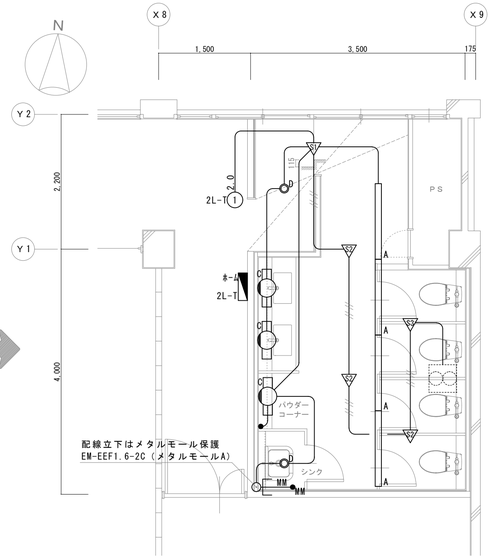
施工前　トイレ照明設備３階平面図　S=1/50



施工後　トイレ照明設備３階平面図　S=1/50



施工前　トイレ照明設備２階平面図　S=1/50



施工後　トイレ照明設備２階平面図　S=1/50

配線例

記　号	線　種	保護管	備　考
———	EM-EEF1.6-2C	PF16	
———	EM-EEF1.6-2C × 2		
2.0	EM-EEF2.0-2C	PF16	
MM	EM-EEF1.6-2C	メタルモール	

設備凡例

記　号	名　称　・　仕　様	備　考
	既設照明器具　FLR40W×2，富士形	撤去
	既設照明器具　FLR40W×1，富士形	撤去
	既設照明器具　FLR20W×2，富士形	撤去
	埋込スイッチ　1P15A×1，PB共	撤去，Bは存置
MM	埋込スイッチ　1P15A×1，P共，メタルモール用B共	撤去
1	埋込コンセント　2P15A×1，PB共	撤去，Bは存置
	天井埋込コンセント　2P15A×1，PB共	撤去

設備凡例

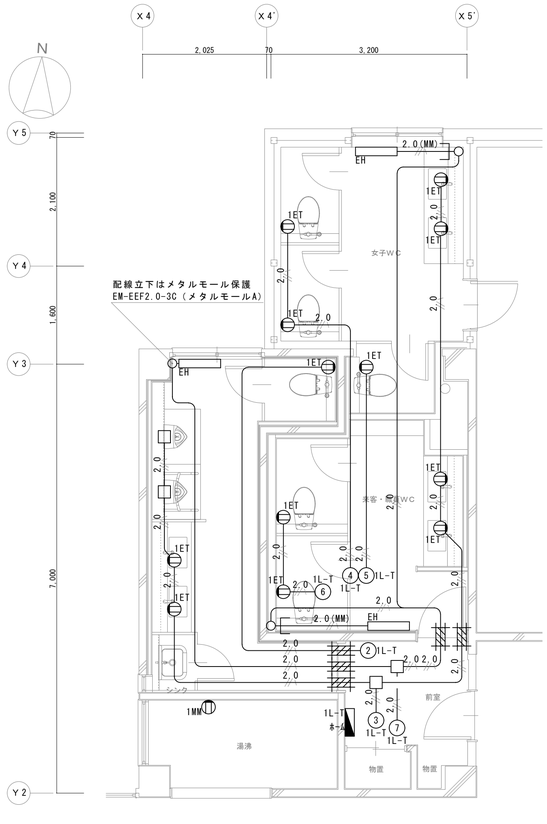
記　号	名　称　・　仕　様	備　考
3L-T	ホーム分電盤　ドア付，露出・半埋込共用	分電盤参考結線図参照
2L-T	ホーム分電盤　ドア付，露出・半埋込共用	分電盤参考結線図参照
3L-T	ホーム分電盤　ドア付，露出・半埋込共用	分電盤参考結線図参照
A	照明器具　LED，下面開放型，ライトバー共	照明器具参考姿図参照
B	照明器具　LED，40形，直付型，ライトバー共	照明器具参考姿図参照
C	照明器具　LDL20×1，笠なし型，ランプ共	照明器具参考姿図参照
D	照明器具　LED，ダウンライト	照明器具参考姿図参照
●	埋込スイッチ　1P15A×1　PB共	
● MM	埋込スイッチ　1P15A×1　P共，メタルモール用B共	
● B再	埋込スイッチ　1P15A×1　P共	B再使用
	人感センサー　親機	
	人感センサー　子機	
	人感センサー　子機，換気扇接続端子付	
	コア抜φ50程度	
	天井換気扇	機械工事で設置，本工事で配線接続
	レンジフード　操作部付	機械工事で設置，本工事で配線接続

秋田市建設部建築課	件名	旧産業振興校舎大規模改修電気設備工事					種別	トイレ照明設備平面図	
	課長		参事		設計		縮尺	S=1/50	
							設計年月日	H27.04	年度 H27

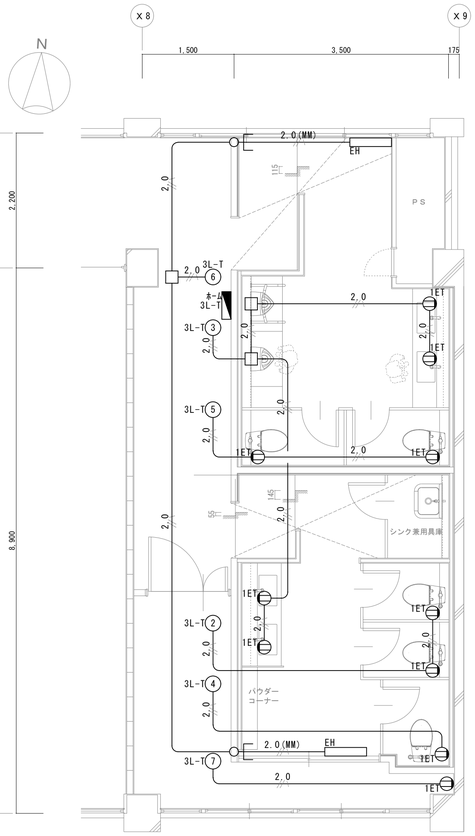
特記

撤去した照明器具の蛍光ランプ処分は，リサイクル処分とすること。
照明器具Cは，間接照明とするため，施工の前に建築と協議すること。

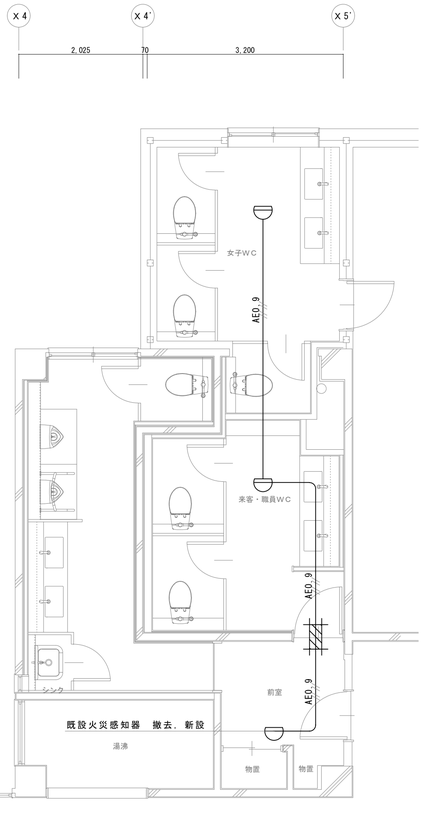
7 枚ノ内	図面番号	4
区分	E	



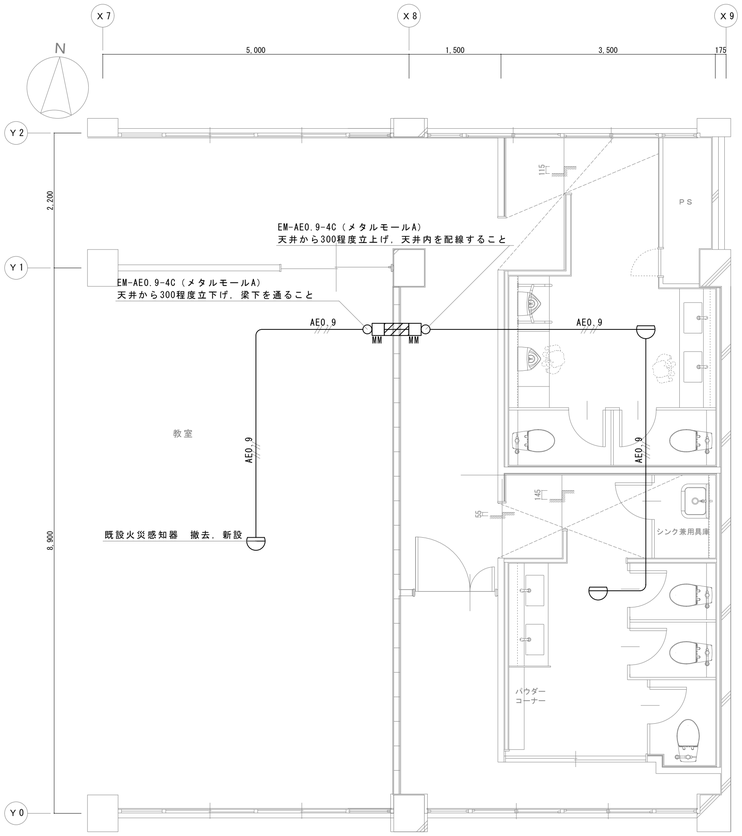
施工後　トイレコンセント設備１階平面図　S=1/50



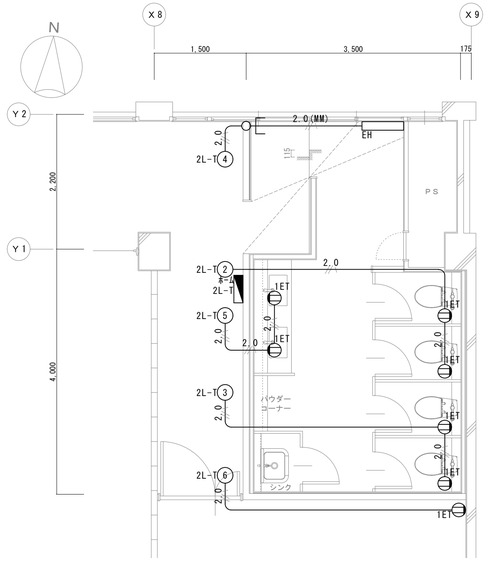
施工後　トイレコンセント設備３階平面図　S=1/50



施工後　トイレ火災報知設備１階平面図　S=1/50



施工後　トイレ火災報知設備３階平面図　S=1/50



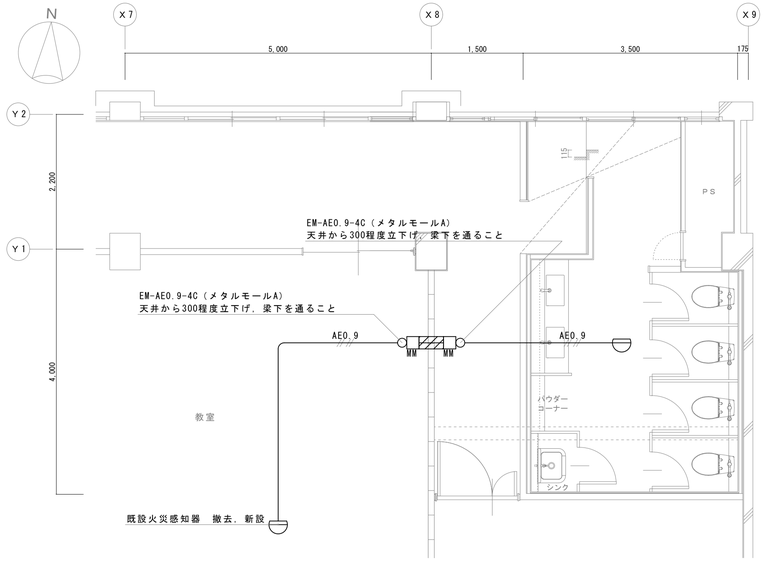
施工後　トイレコンセント設備２階平面図　S=1/50

配線例

記　号	線　種	保護管	備　考
2.0	EM-EEF2.0-3C（一線接地）	PF22	
2.0(MM)	EM-EEF2.0-3C（一線接地）	ﾒﾀﾙﾓｰﾙA	

設備凡例

記　号	名　称　・　仕　様	備　考
ホーム1L-T	ホーム分電盤　ドア付，露出・半埋込共用	分電盤参考結線図参照
ホーム2L-T	ホーム分電盤　ドア付，露出・半埋込共用	分電盤参考結線図参照
ホーム3L-T	ホーム分電盤　ドア付，露出・半埋込共用	分電盤参考結線図参照
1ET	埋込コンセント　2P15A×1ET　PB共	
1MM	埋込コンセント　2P15A×1，P共，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用B共	既設ボックス位置に設置
	ジョイントボックス　OB44相当	
EH	電気暖房機　SUS製，0.25kW，壁掛形	参考：NXS-250
	コア抜φ50程度	



施工後　トイレ火災報知設備２階平面図　S=1/50

配線例

記　号	線　種	保護管	備　考
AE0.9	EM-AE0.9-4C	ﾒﾀﾙﾓｰﾙA	露出部を保護

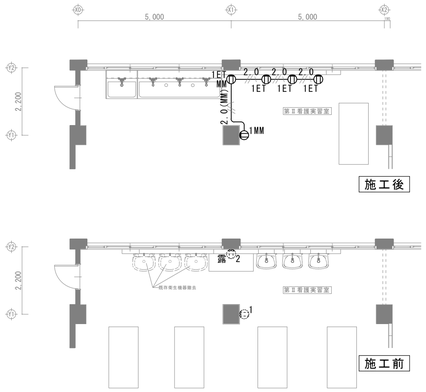
設備凡例

記　号	名　称　・　仕　様	備　考
	火災感知器　スポット型，差動式，２種	
MM	メタルモール用ボックス　カバープレート共	
	防火区画貫通処理　コア抜きφ50程度	
	コア抜φ50程度	

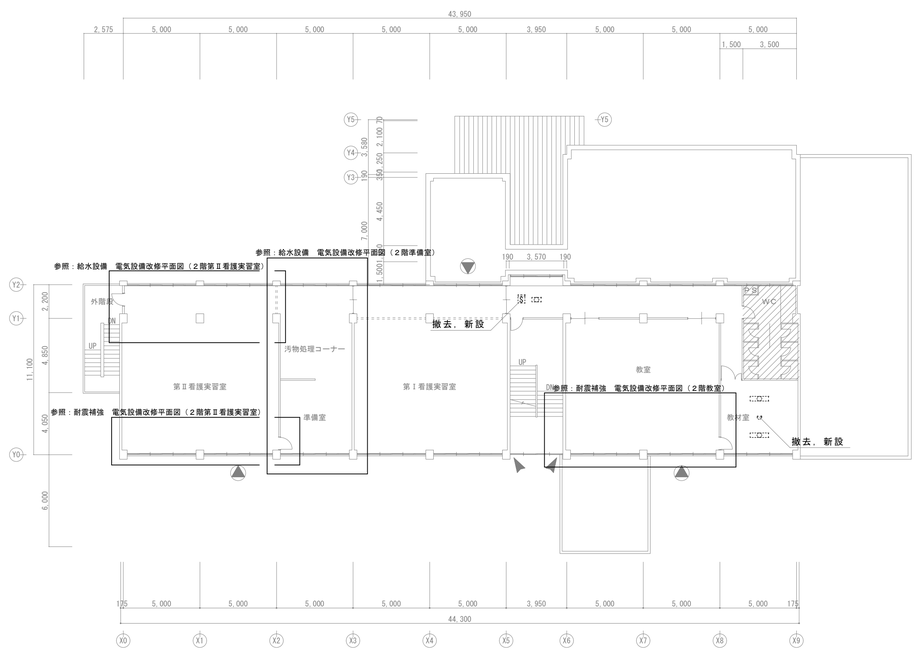
秋田市建設部建築課	件名	旧産業振興校舎大規模改修電気設備工事					種別	トイレコンセント設備平面図 トイレ火災報知設備平面図	特記
	課長		参事		設計		縮尺	S=1/50	
							設計年月日	H27.04　年度　H27	

7 枚ノ内　図面番号 5

区分　E

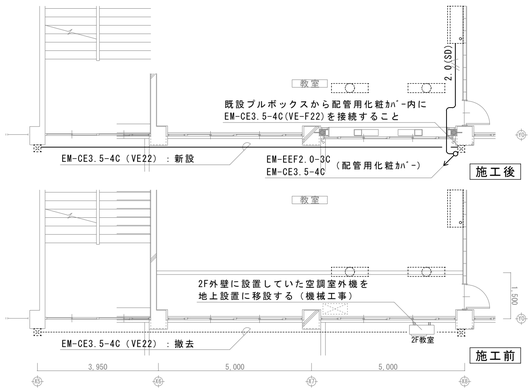


給水設備　電気設備改修平面図（２階第Ⅱ看護実習室）S=1/100

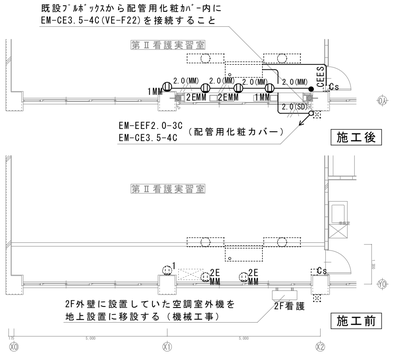


給水設備　電気設備改修２階平面図　S=1/200

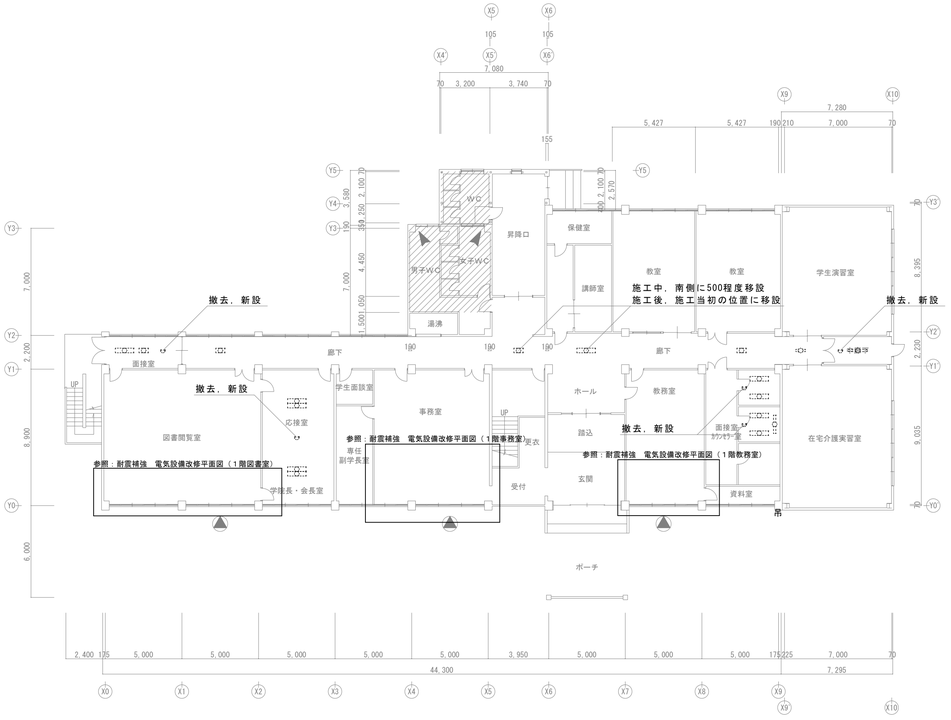
給水設備　電気設備改修平面図（２階準備室）S=1/100



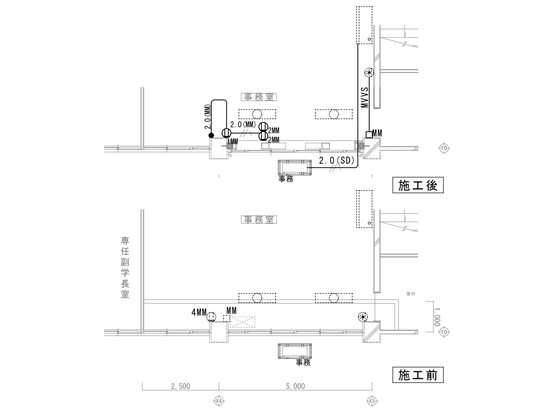
耐震補強　電気設備改修平面図（２階教室）S=1/100



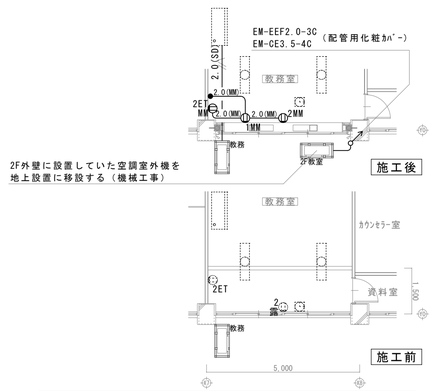
耐震補強　電気設備改修平面図（２階第Ⅱ看護実習室）S=1/100



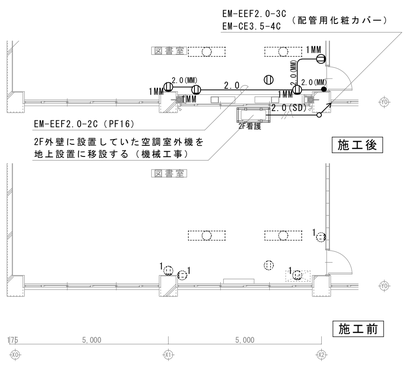
給水設備　電気設備改修１階平面図　S=1/200



耐震補強　電気設備改修平面図（１階事務室）S=1/100



耐震補強　電気設備改修平面図（１階教務室）S=1/100



耐震補強　電気設備改修平面図（１階図書室）S=1/100

施工概要

旧産業振興校舎の耐震補強に伴う，既設電気設備の撤去および新設を行う。
１階，２階および３階のトイレ電気設備を改修すること。
耐震補強工事に伴い，ブレースおよびスリット工事に影響する電気設備を撤去新設すること。

空調設備について，１階事務室と１階教務室は，単相３線電源であり，また，
２階第Ⅱ看護実習室と２階教室は，三相３線電源であるため，配線時は注意すること。

配線例

記　号	線　種	保護管	備　考
2.0	EM-EEF2.0-2C	PF16	
2.0(MM)	EM-EEF2.0-2C	ﾒﾀﾙﾓｰﾙA	
2.0(SD)	EM-EEF2.0-3C（一線接地）	配管化粧ｶﾊﾞｰ	配管化粧カバーは機械工事で設置
	EM-CE3.5-4C（一線接地）	VE-F22	屋外露出
MVVS	MVVS0.75-2C	ﾒﾀﾙﾓｰﾙA	
CEES	EM-CEES1.25*2	ﾒﾀﾙﾓｰﾙA	

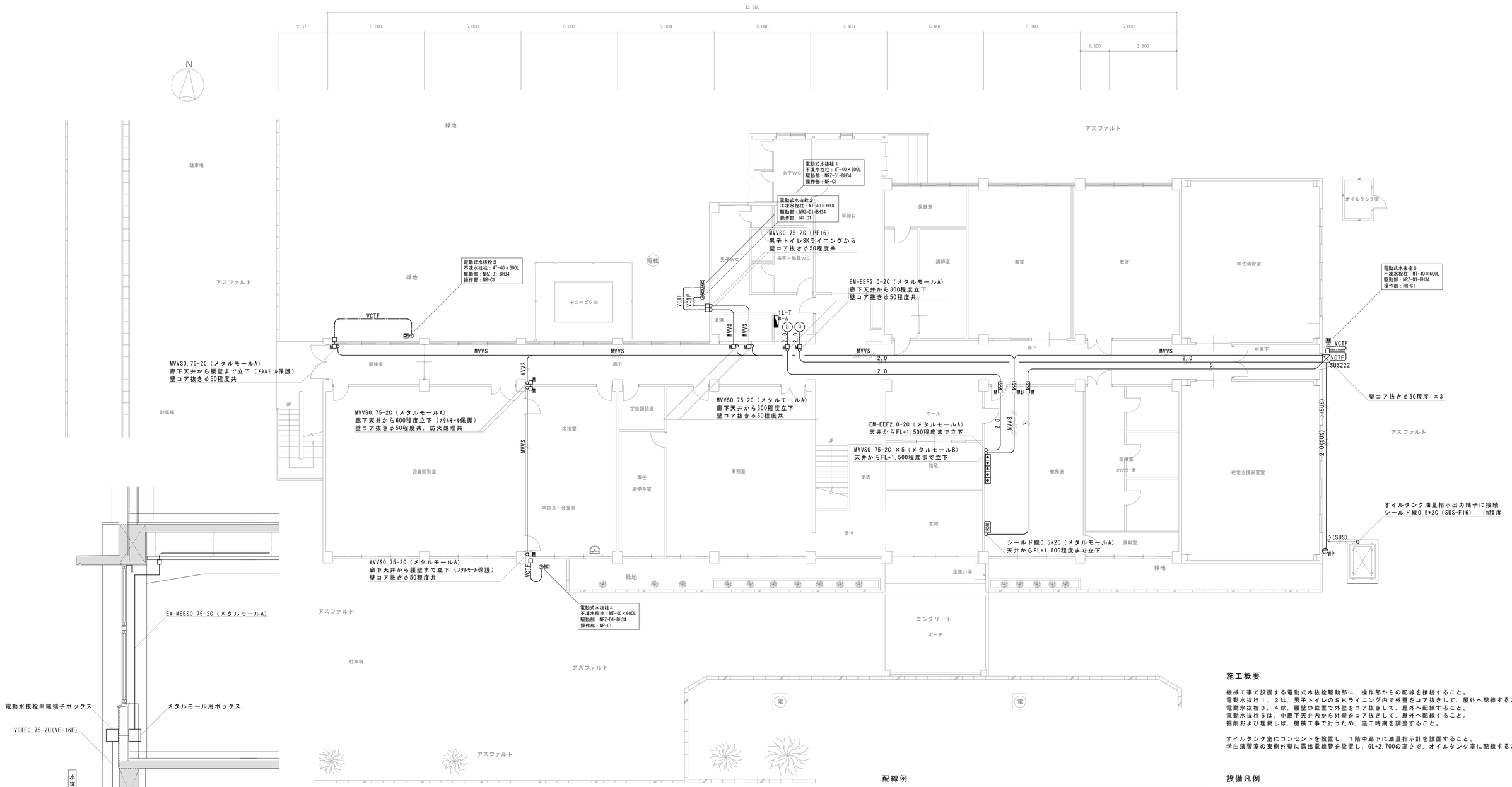
設備凡例

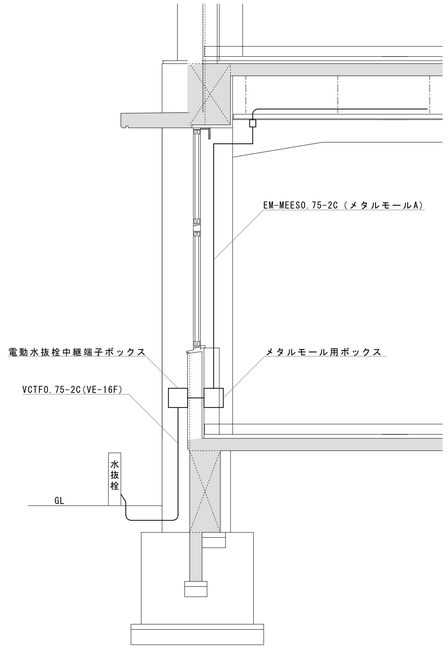
記　号	名　称　・　仕　様	備　考
	既設照明器具　FLR20W×1，富士形	撤去再取付
	既設照明器具　FLR20W×2，富士形	撤去再取付
吊	既設照明器具　FLR40W×1，富士形	撤去再取付
吊	既設照明器具　FLR40W×1，黒板灯，パイプ吊	撤去再取付
	既設照明器具　FLR40W×2，富士形	撤去再取付
S	既設火災感知器　煙感知器	撤去，新設
	既設火災感知器　スポット，差動式	撤去，新設
S	手元開閉器箱	撤去

設備凡例

記　号	名　称　・　仕　様	備　考
1	埋込コンセント　2P15A×1，PB共	撤去，Bは存置
2 露	露出コンセント　2P15A×2	撤去
2E MM	埋込コンセント　2P15A×2E，P共，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用B共	撤去
2ET	埋込コンセント　2P15A×2ET，PB共	撤去，Bは存置
3 MM	埋込コンセント　2P15A×3，P共，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用B共	撤去
4 MM	埋込コンセント　2P15A×4，P共，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用B共	撤去
	天井埋込コンセント　2P15A×1，PB共	撤去
1MM	埋込コンセント　2P15A×1，P共，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用B共	新設
1ET	埋込コンセント　2P15A×1ET，PB共	新設
1ET MM	埋込コンセント　2P15A×1ET，P共，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用B共	新設
2MM	埋込コンセント　2P15A×2，P共，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用B共	新設
2E MM	埋込コンセント　2P15A×2E，P共，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用B共	新設
2ET MM	埋込コンセント　2P15A×2ET，P共，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用B共	新設
3MM	埋込コンセント　2P15A×3，P共，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用B共	新設
	天井埋込コンセント　2P15A×1，PB共	新設
	インターホン用スピーカー	撤去，移設
MM	メタルモール用ボックス　カバープレート共	新設，ﾎﾞｯｸｽ内で既設配線と接続
MM	メタルモール用ボックス　カバープレート共	撤去
	既設プログラムチャイム　壁掛形	撤去，再取付
	既設プルボックス　樹脂製，200×200×200	既設空調用電源ｹｰﾌﾞﾙと，新設EM-CE3.5-4Cを結線すること
Cs	空調用リモコン	撤去，再取付
	空調室外機	機械工事で移設，配線接続は本工事
	空調室内機	機械工事で移設，配線接続は本工事
●	換気扇用コントロールスイッチ　ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ﾎﾞｯｸｽ共	機械工事支給，ﾒﾀﾙﾓｰﾙ用ﾎﾞｯｸｽは本工事

秋田市建設部建築課	件名	旧産業振興校舎大規模改修電気設備工事			種別	耐震補強電気設備改修平面図，給水設備電気設備改修平面図		特記	7	図面番号 6
	課長		参事		設計				枚ノ内	
					縮尺	S=1/100，1/200			区分	E
					設計年月日	H27.04	年度 H27			





電動水抜栓配線参考断面図 S=NON

電動水抜栓等配線設備平面図 S=1/100

施工概要

機械工事で設置する電動式水抜栓駆動部に，操作部からの配線を接続すること。
電動水抜栓１，２は，男子トイレのＳＫライニング内で外壁をコア抜きして，屋外へ配線すること。
電動水抜栓３，４は，腰壁の位置で外壁をコア抜きして，屋外へ配線すること。
電動水抜栓５は，中廊下天井内から外壁をコア抜きして，屋外へ配線すること。
掘削および埋戻しは，機械工事で行うため，施工時期を調整すること。

オイルタンク室にコンセントを設置し，１階中廊下に油量指示計を設置すること。
学生演習室の東側外壁に露出電線管を設置し，GL+2,700の高さで，オイルタンク室に配線すること。

配線例

記　号	線　種	保 護 管	備　考
MVVS	MVVS0.75-2C	ﾒﾀﾙﾓｰﾙA PF16	電動水抜栓用
MVVS	MVVS0.75-2C × 2	ﾒﾀﾙﾓｰﾙA×2	電動水抜栓用
MVVS	MVVS0.75-2C × 4		電動水抜栓用
MVVS	MVVS0.75-2C × 5	ﾒﾀﾙﾓｰﾙB	電動水抜栓用
VCTF	VCTF0.75-2C	VE-F16	屋外露出，地中埋設配線
VCTF	VCTF0.75-2C	SUS-GP16	屋外露出
2.0	EM-EEF2.0-2C	ﾒﾀﾙﾓｰﾙA	
2.0	EM-EEF2.0-3C（一線接地）	ﾒﾀﾙﾓｰﾙA	
2.0(SUS)	EM-EEF2.0-3C（一線接地）	SUS-GP22	屋外露出
シ	シールド線0.5-2C	ﾒﾀﾙﾓｰﾙA	油面指示計用
シ(SUS)	シールド線0.5-2C	SUS-GP16	油面指示計用，屋外露出

設備凡例

記　号	名　称　・　仕　様	備　考
8-9 1L-T	ホーム分電盤　ドア付，露出・半埋込共用	幹線設備平面図E-02参照
WP	防水コンセント　2P15A×1ELKET，露出B共	
□	中継端子ボックス　露出ボックス共	参考：R-WTB
□ M	メタルモール用露出ボックス　カバー共	
□ M×5	メタルモール用露出ボックス　カバー共　×5個	
SUS222	プルボックス　SUS製，指定色塗装，200□×200	
	電動水抜栓操作部　B共	機械工事で支給，設置・配線接続は本工事
	防火区画貫通処理　コア抜きφ50程度	
	コア抜き　φ50程度	
ROM	油量指示計　露出ボックス共	機械工事で支給，設置・配線接続は本工事
	電動水抜栓本体	機械工事で設置，配線接続は本工事

秋田市建設部建築課	件名	旧産業振興校舎大規模改修電気設備工事			種別	電動水抜栓等配線設備平面図 電動水抜栓配線参考断面図		
	課長		参事		設計		縮尺	S=1/100，NON	
							設計年月日	H27.04	年度 H27

特記
外壁貫通箇所は，コア抜きφ50程度で施工すること。

7 枚ノ内　図面番号 7
区分 E